

# 稚内市立稚内東小学校

指定年度：H26～  
児童数：327名

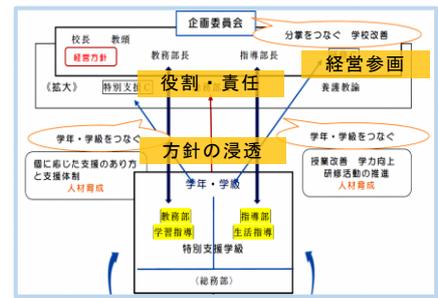
## 1 包括的な学校改善に向けた取組の概要

### ① 経営方針の浸透を図る組織体制の強化

学校の教育目標の実現を図るには、学校経営に対する教職員の参画意識を高め、校長の経営方針に基づく教育活動を推進することが重要であり、本校では、管理職と分掌部長等のミドルリーダーで構成する企画委員会を意思決定の中心に据えた組織体制の強化を図っている。

企画委員会では、各種調査や学校評価等の結果から明らかとなった課題の解決に向け、校長が改善の方向性を指示したり、各分掌で検討した具体的な取組内容やスケジュール等について分掌部長等から説明を受け、決定したりしている。

また、教職員の共通理解に基づく取組の一層の推進に向けて、各学年の教員が教務部か生徒指導部のいずれかに所属するようにし、方針に基づく取組を全ての学年や学級に浸透させるようにしている。



### ② 業務の効率化

限られた時間の中で、教育の質の向上を図るためには、業務の効率化を図る働き方改革の推進が重要であり、本校では、総務部の機能強化を図り、事務職員が中心となって各教員の業務をサポートする体制を整備している。

総務部では、これまで学年や学級で行ってきた学校行事等の渉外、学年サポート（学年会計・各種テスト集計等）、各種外部機関・専門機関との連携などの取組を率先して進めている。

また、各分掌や学年の業務の内容の精選、諸会議や研修の効率化など、学校経営全般に関わる内容については教頭が担当し、学級担任業務のサポートについては事務職員が担当するなど、役割を明確にして学校全体の業務の効率化を図っている。

- 〔事務職員による教員サポート〕
- ・各種調査の集計
  - ・各種テストの集計
  - ・学年会計の集計
  - ・校内ネットワーク内のフォルダ整理
  - ・共有資料閲覧システムの構築 など

### ③ 組織的な校内研修

全ての児童に育成すべき資質・能力を確実に身に付けさせるためには、個々の教員が日常の実践を振り返り、改善を図っていくことが重要であり、本校では、研修コーディネーターを位置付け、校内研修の充実を図っている。

研修コーディネーターは、全学級の指導の状況を把握できるよう、TT指導等を行う教員とし、主な役割は、研修計画の立案、各種調査やアンケート等の結果の取りまとめと分析の指示等を行っている。

また、研修コーディネーターを定期的に企画委員会に参加させ、各分掌部長に各種調査やアンケートの結果に基づく改善策を説明させるなど、組織的な学習指導等の改善充実を図っている。



## 2 取組の成果と課題 (□：成果 ■：課題)

□経営方針の浸透を図るため、分掌部長等のミドルリーダーを中心とした組織体制を確立したことにより、経営参画意識が高まり、各分掌の業務が主体的に進められるとともに、若手教員も自分の役割を自覚するようになり、チームとしての分掌運営が円滑に進められた。

□研修コーディネーターを位置付け、校内研修を中心に組織的な授業改善等の取組を推進したことにより、学校アンケートにおいて約95%の保護者が「学校は、学力が身に付くよう指導している」、約80%の児童が「楽しく興味をもって勉強できる」と回答した。

■組織的な取組の中で新たなミドルリーダーの育成を図るため、より一層学校改善を進めていく必要がある。